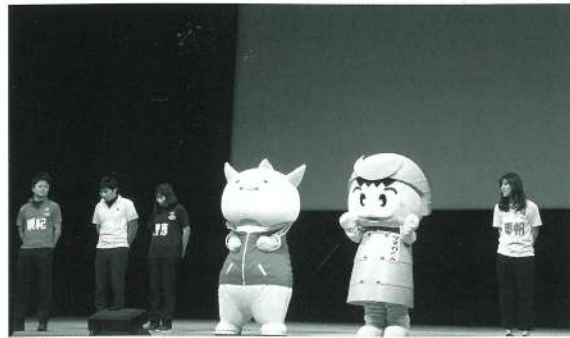


第29回関西商工会議所女性会連合会 敦賀大会

平成29年5月19日 敦賀市民文化センター

～人道の港・湊町つるが 未来への懸け橋～



関女連総会が福井県敦賀市で開催され、2府5県53女性会450名を超える参加者が集いました。

連合会河内会長、尾崎名誉会長の元気いっぱい、そして愛溢れる挨拶から始まり、総会は肅々と執り行われました。講演会は、株式会社奥井海生堂 代表取締役社長奥井隆氏による「越前・若狭と昆布」というテーマで、明治4年創業以来築かれた歴史と、現在では全国の寺院（精進料理）また名だたる料理人の信頼を得る老舗昆布商としての興味深いお話を拝聴することができました。その後、きらめきみなど館に移動し、ひしめきあう物産展でがっちりお買い物をしました。併設されている映像館では、杉原千畝の「命のビザ」を手に、ユダヤ人難民約6000

人が敦賀港に上陸したという歴史を学びました。「戦争も差別もない。人々は親切で、自由に街を歩くことができる。ここは天国です」とあるユダヤ人の言葉が胸に残っています。

懇親会は、花柳英五郎氏(会員)の祝舞からはじまり、ご当地の食材が詰まったお弁当をいただきながら、アトラクションは地元小中学生による賑やかなダンスで、会場中笑顔と拍手で盛り上がりました。敦賀女性会はさほど大きな規模ではなく、総会が満足できるものになるか、とても不安を抱えながらのスタートということでしたが、身の丈に合った、心温まるおもてなしと、福井地区女性会の強い連携力を存分に発揮された本当に素晴らしい会でした。そしてキャッチフレーズ通り、まさに関女連の“未来への懸け橋”になった会であったと思います。追伸ですが、物産展で買った「さば焼き」本当に美味でした。



(北港運輸株式会社 代表取締役 古谷 裕子)

各委員会イベント報告

組織委員会 日帰り見学ツアー

平成29年5月30日 参加21名
和歌山県白浜町アドベンチャーワールド
希少動物繁殖センター「PANDA LOVE」



広報委員会 懇親バスツアー

平成29年9月9日 参加20名
嵯峨螺鈿「野村」
京都嵐山 螺鈿・蒔絵(らでんまきえ)体験



新入会員ご紹介 平成29年4月～11月

大西 絵里	Compass	代表
土井 玲子	㈱ドゥ・ワン・ソーイング	専務取締役
中村 範香	タキヤ(株)	監査役
福尾 育子	(一社)Stand By The Children	代表理事
井上 祐子	Fruits Balloon's 808	代表
前内 真智子	㈱サロンドロワイヤル	代表取締役
上田 真弓	笑顔の時間	代表
岸本 博子	リーダーボイス アカデミー	代表
田村 奈美	㈱アルパ・ホーム	代表取締役
西尾 安紀子	プライダルコンシェルジュ アンソワ	代表
森 日和	(一社)つばみ咲くプロジェクト	代表理事
光 在美和子	㈱みのり	取締役社長
中島 美貴子	㈱ベルリーナ	代表取締役社長

(敬称略・順不同)

編集後記

昨年から広報委員会に属し、各活動における報告担当の振り分けやその原稿校正に参加させていただいています。活動に参加できなかった方へも分かり易く伝わるよう、一文字でも大切に決定していくプロセスを通じ、言葉遣いのノウハウと重要性を再確認いたしました。

皆様へ伝わっておりますでしょうか。お読みになられてのご意見など頂戴し活かしていきたいと思っております。来年の60周年に向け、一致団結。ご協力をお願い申し上げます。

広報副委員長 永井甫智子



Vol.37 2017年 秋号

山茶花(さざんか) 花言葉:「困難に打ち克つ」「ひたむきさ」

平成29年度の主な事業予定(後半)

12月18日(月)	4委員会合同忘年会
平成30年	
1月16日(火)	新年互礼会
2月13日(火)	【関西女性会連合会】理事会&会長会議
2月20日(火)	経営事例発表会
3月7日(水)	【大阪府女性会連合会】総会&講演会

平成29年度通常総会 & 講演会

平成29年6月19日 帝国ホテル大阪「孔雀東」の間

命の質を高める「人間力」と「決断力」が大切!



大阪商工会議所女性会 平成29年度 通常総会

新入会員15名、ゲスト7名、そろいのブレザーに身を包んだ会員125名が出席。

最初に尾崎公子名誉会長のピアノ伴奏で、「商工会議所女性会の歌」を斉唱。続いて河内幸枝会長のリードで、女性会活動指針を唱和し開会しました。

河内会長から一年を振り返り、昨年の目標の総会出席者数を越えたことへの御礼、来る60周年の案内と協力のお願がありました。

尾崎名誉会長はご挨拶の冒頭、数十年前、「婦人会(現:女性会)は華やかな仲良しクラブ」と記された思い出に触られました。白で統一された今日の会場を見て、女性の経済活動が現在の大阪

には大きな power の源となっている事への喜びと、命の質を高める「人間力」の大切さをお話いただきました。

その後、議案の決議に移り、すべて拍手のなか決議され、貝原富美子監事の監査報告も拍手で承認されました。

昼食は、大阪商工会議所尾崎裕会頭はじめ、講師の株式会社モンベル代表取締役会長辰野勇氏やご来賓も一緒に、尾崎会頭の乾杯の挨拶で「なだ万」の松花堂弁当をいただきました。

講演会「夢と冒険、今、リーダーに求められる力」では、講師の辰野氏が、体が弱かった少年が、アイガー北壁を登るという夢を持ち実現した経緯、登山を通して厳しい自然から得た経験と知恵の話がされると、全員引き込まれ、あっという間に2時間が過ぎました。

人は常に死と隣り合わせで、生きているのが不思議。経営者にとって最も大切なのは「決断力」であるとのメッセージに、会場中大きな拍手が巻き起こりました。古谷副会長の、未来に向けた力強いお開きの挨拶で閉会いたしました。

役員の皆さまから、お見送りいただき恐縮でしたが、ありがとうございました。



(株式会社堂島スイーツ 代表取締役 永井 甫智子)



北海道の自然の恵みを感じ、女性会活動という一体感で心の輪がつながる!



全国大会は「恵みの大地 北海道へようこそ つなげよう 広げよう 心の輪」をテーマに札幌で開催されました。6日午前空路伊丹を出発、2時間余りのフライトで新千歳着。空港では千歳女性会の皆様が歓迎の幟で迎えて下さり、荷物を待つ間プチ交流。北海道の見どころなどを伺い、大阪観光へも大いに勧誘いたしました。空港をあとに専用バスで宿泊地のロイトン札幌へ。途中ウトナイ湖へつながる美々川の畔の和牛レストランびびにて昼食。

夜は3会場に分かれての懇親会。尾崎名誉会長と河内会長も登壇され、元気に鏡割りでスタート。国内外から高い評価を受ける平岸天神のエネルギッシュな演舞を始め、北海道の和を感じられるアトラクションの中、北海道の食を満喫できるメニューが目白押し。最初に出された大きなたらば蟹は圧巻でした。

翌日はいよいよ全国大会。北海道立総合体育センターには全国から総勢2700余名が参集。バイオリンの演奏によるオープニング、式次第にのっとり、主催者、来賓のご挨拶が続き、各女性会の紹介では我が大商女性会も揃いの白ブレザーを着用して大阪パワーをアピール。次に女性会活動の大きな柱である起業家大賞などの表彰式。今年は新潟県小千谷市の新谷梨恵子さんが選ばれました。「さつまいも」を使ったまちおこし。1次+2次+3次=6次産業という新しいコンセプト展開が注目されました。今までの既成概念にとらわれない自由な発想での起業の可能性を感じました。池上淳子前会長は特別功労者として表彰され、喜ばしいことと存じます。順調に式典は進み、来年の開催地岩手県へ連合旗が引き継がれ閉会となりました。

記念講演は「お、ねだん以上」のキャッチコピーで知られる株式会社ニトリホールディングスの代表取締役会長兼CEOの似鳥昭雄氏。親しみのもてる話しぶりで、札幌で創業された一家具店から世界に広がるホームファニチャーの一大企業を築かれた成功談を伺いました。奥様との出会いや経営の師である渥美俊一氏との出会いは確実に似鳥氏の成功の鍵。誰にでも転機となる出会いがあります。それをいかに生かすかはその人の強い意志次第。師から叩き込まれたロマンとビジョンでこれからは飛躍されることと思います。

全国大会を終え、お楽しみのエクスカッションへ。車窓から眺める白樺林に北海道の自然の恵みを感じ、短い時間ながらも女性会活動という一体感で心の輪がつながった全国大会でした。



ブルーのチーフを振りアピールするメンバー

(株式会社ユニオンキャップ 代表取締役 田中 博子)



北海道視察研修会に参加して

平成29年10月7日(土)～8日(日)

北海道産葡萄で企業同士がガッツリ手を組む

全女連北海道全国大会の興奮も冷めやらぬまま、バスは一路苦小牧で植物工場を展開するJファームへ向かう。低く垂れこめた雲からは、いつしか雨粒が落ち工場に到着する頃には本降りに。

ここはJFEエンジニアリング(旧・日本鋼管と川崎製鉄)の未来の農業技術「スマートアグリ生産プラント」。温度・湿度はコンピュータ管理され、植物栽培に最適な環境の中で、ミニトマトやサラダ用リーフを生産している。話上手の所長さんの案内で工場見学へ。「トマトはストレスを掛けて甘くなる」という。通常は植物の芽は上へ伸びるが、ここでは広さを有効に使い斜めに倒して育てているとのこと。ドーム球場5個分の広さで生産されるトマトとリーフは全て道内で消費され、本州には出回らない。「レッドジュエル」というミニトマトとリーフを購入。一週間経っても新鮮な美味しさを食卓を楽ませてくれました。

二日目の泊りは定山溪温泉「森の譚」。露天風呂がゆったりとして気持ちいい。日頃の疲れをすっかり洗い流すことができて気分は絶好調。朝食の私のサプライズは北海道産米「ふっくりんこ」を使った「野菜の握り寿司」。Webサイトで「素材を磨く」と紹介されていたが、インスタ映えする一皿になった。素材の味を生かした薄味な料理で元気を頂戴しました。

三日目は観光で小樽の運河クルーズ。映画「海猿」のロケ地としても有名で、石原裕次郎もこの地をこよなく愛したという。昼食後、国産葡萄100パーセントを使ったワイン「ジャパンプランド」を展開する北海道ワイン小樽醸造所へ。今や生産量日本一を達成。後から気が付いたことではあるが、小樽のチーズケーキで有名な洋菓子店「ルタオ」の季節限定の葡萄のホワイトチョコの味は、北海道ワインとまさしく同じ品種「ナイアガラ」。北海道産で企業同士がお互いにガッツリと手を組んでいることが分かった視察研修会でした。



(有限会社オフィス・メイ 代表取締役 鈴木 美和子)

平成29年10月25日 大阪商工会議所6階「白鳳の間」

『私の育った会社ANA』

「ありがとう」「助かった」と感謝の言葉で、相手が前向きに!!



全日本空輸株式会社
上席執行役員関西支社長
新居 勇子様

ヘリコプター2機を所有する「日本ヘリコプター輸送会社」として誕生した全日空は、今や事業規模国内外で一日1,000便、年間5,000万人超の旅客数を誇る世界有数の航空会社に発展。5年前にホールディングス化され営業部門でご活躍中です。最初に配属された神戸支店でカウンター、予約センター、団体の取り扱いなど営業に関するすべてを覚え責任ある業務を任せられ、社会人としての行儀や仕事の基礎を学んだことがその後のお仕事に活かされています。

大阪支店では国内線予約発券カウントが導入され、システムの運用や操作方法の案内などやりがいのある業務を経た後、国際線予約発券端末を扱う会社に出向されました。それまでの「言わなくてもわかるでしょ?」という会社の風土が通用せず、考えるだけでなく行動した上で更に言うて聞かせないとわかってもらえない現場に悩まれ、新しい会社では一緒に風土を作っていくこうと考えを転換されて乗り切られました。その時の経験から、人として相手を尊重して話すことを心がけ、辛いときは自分の責任を精いっぱい果たした上で他人の助け

が必要であれば遠慮なく上司や同僚に相談し、助けてもらうようにされています。

その後管理職の試験を受けてマネージャーに。若い部下と仕事上での付き合いがうまくいかないとき、叱ったり褒めるのではなく「ありがとう」「助かった」と感謝の言葉で接するようになったところ相手が前向きに変化したという。

他人を変えようとするのではなく、自分の接し方や気持ちを変えることの大切さに気付かれました。

名古屋・東京・そして大阪と転勤し役員になられた今、過去の自分に感謝し自分にできることを精いっぱいやろうと決意されておられるとのこと。

最後に「仕事とはすべての経験や人との出会いが自分を形成している。人とのかわり大切に取組んでいきたい。知識があっても知恵がないとそれを活用できない。知恵があってもそれを行動に移し、交渉する力がないと発揮することが出来ない。」と結ばれました。

(一般社団法人しんそう大坂会 代表理事 大庭 妃呂子)

「主婦よりご縁をつなぐキューピットに!」

商品は自分、自分を磨き、スキルを磨くことで安心を与える!



有限会社セブンローズ
代表取締役
野々山 邑子様

ブライダルギャラリー邑(ゆう)を経営されている野々山様は、結婚相談員歴三十有余年の大ベテランです。この業界に入るきっかけから現在に至るまでをユーモアたっぷりにお話され、あっという間の30分でした。

ご主人の度重なる転勤の末、やっと念願の関西に戻り優雅な専業主婦生活を過ごしていたところ、偶然出会った友人に誘われて行った所が、業界最大手の結婚相談所でした。最初の仕事は、会員様へ送る封筒の宛名書きでした。ひと月も経たないうちに社長にカウンセラーの研修を受けるようにと抜擢されて、見事60人中6人に残りキューピットの誕生です。

先輩カウンセラーの話されていることと、自分のアレンジ、社長の教訓で瞬く間に業績トップのカウンセラーになりました。退社された後も請われて2箇所の結婚相談所を手掛けられ、2箇所とも大成功を取られました。

50歳を機に引退を決意されて一度は身をひかれましたが、昔の仕事仲間から説得されブライダルギャラリー邑を立ち上げ再びこの業界に戻られました。今では、検索サイトのトップページに載るほど成功されています。

野々山様は、「私たちの仕事は売るものがないんです。自分自身を売るんです!」「営業の仕事は業績を上げないといけない。」とおっしゃいました。商品は自分、そのために自分を磨き、スキルを磨き、会員様を愛し、会員様に安心を与えると言うことだと思います。その結果が数字となって表れるんです。

ご自分で望まれたわけではなく、まるで天から導かれたようなご職業。真にキューピットは天職ですね!機会がありましたらぜひ続きを聞かせていただきたいものです。

(有限会社ワカバ 代表取締役 峯 真貴子)